

### 県、ベンチャー創出事業

# 応募増へてこ入れ

県は、二〇〇五年度から実施している「大学発・大企業発ベンチャー創出促進モデルプロジェクト事業」のてこ入れ策に乗り出す。二月一日に、起業希望者や金融機関、投資企業などを対象にしたフォーラムを開催するほか、県内にキャンパスを置く大学への事業説明も行っていく方針だ。初年度二十八件あった応募件数は〇七年度には二十件に減少。応募の多くが大学からで企業からの提案が少ないなどの課題があるという。

(田崎 基)

同事業に採択されたプロジェクトは、県から二百万～五百万円の起業支援金を受けられ、市場調査費や、起業時に必要となる施設(インキュベーション)への入居費などを賄うことができる。これまで三十プロジェクトが採択されている。

県産業活性化課の担当者は「採択されたプロジェクトはすべて起業し、中には事業化に成功し株式公開を目指しているところもあるが、必ずしも事業が成長軌道に乗っていない

## 企業など対象にフォーラム企画

るものばかりではない」と現状を説明。応募件数を増やすとともに、幅広い分野から提案を受けることで、成功例を増やしていきたい考えだ。

二月一日に開く「かわサイエンスパークUP!フォーラム」では、これまで採択したプロジェクトの起業事例を発表。これから起業を予定している企業・大学のほか、起業後も継続して経営を支えていく金融機関や、ベンチャー企業を対象に投資を行うベンチャー・キャピタルなどを対象にする。

同フォーラムは、かわサイエンスパーク(KSP、川崎市高津区坂戸)で開催。先着八十人。発表後に交流会も行う。発表を行うのは、皮膚再生に関する技術開発の研究から生まれた化粧品の実用化に成功した聖マリアンナ医大発のベンチャー企業「ナノエッグ」はじめ、「アーティセル・システムズ」「アイ・シー・シー・ビー」「イーラムダネット」の計四社。参加無料。問い合わせは、県産業活性化課 ☎045(210)5564。